



広報

秋 田

平成 3 年 (1991 年)

10 月 15 日

No. 670

(毎月 1 日・15 日発行)

発行/秋田県五城目町

どじょうめ



国道285号線沿い、北村地内の山林にて

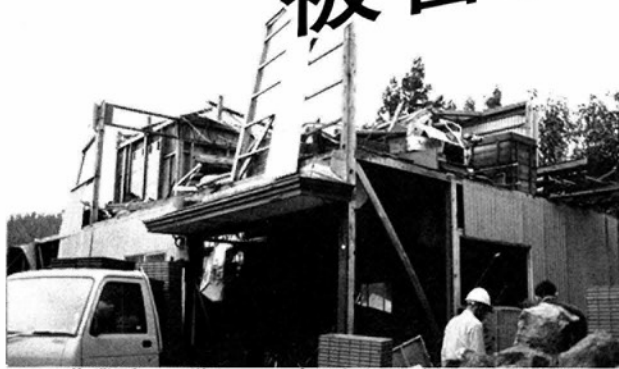
- 主 目 次
- ・ 台風19号災害特集 2・3
- ・ 「町民意向調査」の集計から 4・5
- ・ ごみ対策懇談会スタート 6
- ・ 産業文化祭ご案内 8・9
- ・ ふるさと五城目会総会 10
- ・ 五城目人物山脈 15

台風19号のつめ跡

杉の木の悲鳴が
聞こえてきそうです!

台風19号

町全域につめ跡生々しく 被害総額は9億円に!!



作業所の2階がスッポリ吹き飛ばされるとは...



樹齢1,000年のけやきの太い枝が折れ、
「野田郷倉」を直撃（共に町指定文化財）



お見舞に訪れた木村千代田区長が被災状況を視察



工場と電柱が道路に倒壊

九月二十八日早朝に秋田県沖を通過した台風19号は、秋田地方気象台観測史上最高の最大瞬間風速五一・四メートル（午前五時五十九分）を記録。町消防署の風速計も四六メートルを記録したものの、それ以上は測定不能となっていました。

この暴風で、建物の全・半壊、屋根の破損、収穫期の稲の倒伏、ビニールハウスの倒壊、森林被害、樹木が倒れるなど、町全域に大きな被害をもたらしました。

町では、同日午前八時半に災害対策本部を設置し、被害の把握に努めるとともに、十月四日には相談窓口を設置し、被災者の皆さんの救援に当たっています。

ております。

また、本町と姉妹提携を結んでいる千代田区の木村区長がお見舞いに訪れ、佐藤町長に見舞金百万円と吉成千代田区議会議長からのお見舞文を手渡した後、被害状況を視察しました。

なお、災害に遭われた町民の皆さんへの救援制度として次のような制度がありますので、災害対策本部（☎5212100―役場内）へお気軽にご相談ください。

- ▼生活福祉資金貸付制度
- ▼中小企業関係融資制度
- ▼農林漁業金融公庫災害復旧資金
- ▼一般住宅、農業関係災害資金貸付制度

天皇陛下からの お見舞のお言葉

台風十九号の被害が各地に及び、多くの死者並びに負傷者を出したとのことで、誠に心を痛めています。被災者にお見舞い申し上げますとともに、関係者の努力に感謝し、ねぎらいたいと思います。

被災者の 皆様へ

五城目町長

佐藤邦夫

この度の十九号台風により被害を被りました皆様様に心から御見舞い申し上げます。

未曾有の風台風は、住家・非住家のほか当町の農林商工各分野に甚大な被害をもたらしました。行政として被害の実態把握と対策について、関係諸団体と連携を深め、万全を期して参りたいと存じます。

被害を被りました皆様の心情に想いをいたす時、胸いたむところではありますが、心丈夫に、更なる御活躍を心から祈念申し上げ、重ねて心から御見舞い申し上げます。



全壊した民家



五一中体育館の厚いガラスも割れた



稲杭だけが残った田んぼ



ビニールハウスがアメのようになった

五城目町の被害状況 (10月9日現在)

＜人的被害＞ 重傷 1人、軽傷 1人
計 2人

＜建物被害＞

	件数(件)		被害額(円)
住家	253	全壊 5	111,348,000
		半壊 4	
		一部破損 244	
非住家	247	全壊 37	193,175,000
		半壊 17	
		一部破損 193	
工場	11	全壊 2	20,784,000
		一部破損 9	
その他	12		3,544,000
計	523		328,851,000

＜農業被害＞

	面積(ha)	被害額(円)
水稲	461	18,433,000
野菜	45	6,500,000
大豆	182	9,100,000
果樹	1	1,000,000
花き、キノコ他		5,600,000
ハウス	86棟	35,750,000
ポンプ小屋等		3,000,000
計		79,383,000

＜山林被害＞

樹種	面積(m ²)	被害額(円)
スギ	201.47	451,660,000
マツ	9.57	14,355,000
計	211.04	466,015,000

＜公共施設被害＞ 73件 25,261,000円

被害総額	899,510,000 円
------	---------------



2階のトタンがはがれ垂れ下がる

町の将来像は

「福祉保健の充実した町」

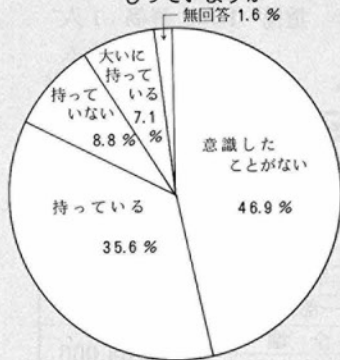
町の新総合発展計画策定のための基礎資料とするため、六月一日に実施した「町民意向調査」の結果によると、半数近い世帯が五城目町に「誇り」を持っており、その理由としては四季折々の美しい自然、五百年の歴史を持つ朝市、恵まれた生活環境などと答えています。

また、過疎脱却に対しては企業誘致が最も多く、次いで地場産業の振興となっています。さらに、今後の五城目町の開発に関して特に重要だと思う施策としては、レクリエーション施設の整備が最も多く、次いで自然環境を活用した施策、未利用地の有効活用などの順となっています。

図1 五城目町での生活について



図2-a 町民としての「誇り」をもっていますか



◆問1 五城目町の生活についてどう思っていますか。(図1)

回答者の半数を超える五八・〇％が「普通である」と答えています。また、「住みやすい」「やや住みやすい」の合計が二一・五％で、「住みにくい」「やや住みにくい」の合計が二九・二％を上回っています。

◆問2 五城目町の町民として、この傾向を地区別に見ると、内川地区と富津内地区で、「住みにくい」「やや住みにくい」の合計がそれぞれ二五・七％、二三・三％にそれぞれ、「住みやすい」「やや住みやすい」の合計二二・四％、一六・六％となっているのが目を引きます。

て「誇り」を持っていますか。(図2a)

この問いには、四六・九％の方が「意識したことがない」と回答していますが、「大いに持っている」「持っている」と答えた方も、合計で四二・七％となっています。

◆問3 最も不便を感じていることは何ですか。(図3)

「道路、側溝、街灯が整備されていない」が二五・二％で、依然として生活環境面のトップであり、次いで「公園、広場等の憩いの場がない」となり、緑地、空間などやすらぎのある環境を求める声も根強いものがあります。

また、「特に問題はない」と回答した方が二二・七％となっています。

これを地区別にみると、

五城目地区、馬川地区での回答のトップは「特に問題はない」ですが、馬場目地区、富津内地区は「道路、側溝、街灯の整備」、内川地区は「生活用水の確保」、大川地区、森山地区は「公園、広場等の憩いの場」がトップとなっており、その地区の状況がうかがわれる回答となっています。

◆問4 過疎脱却のため、どのような施策に力を入れるべきですか。(図4)

過疎脱却に対しての方策については、「企業誘致」が最も多く二二・四％、次いで地場産業の振興一七・〇％、交通通信体系の整備一〇・二％、生活環境の整備一〇・二％などとなっています。若者の定着できる職場の確保を望んでいることがわかります。

◆問5 問7 農業、林業、商業の振興を図るために、どのような施策を講ずるべきだとお考えですか。(図5、図7)

「一〇アール以上の農地を所有している」が三九・六％、以下が一・九％となっています。農業振興のための施策としては、農業特産品の開発を求める声が一・三％と最も多く、次いで専業農家の育成一八・八％、施設園芸、通年栽培施設の整備一〇・二％、七〇％などとなっています。

林業は、「一〇アール以上の山林を所有している」が三五・七％となっていますが、林業振興のための施策として

図2-b どのような点に「誇り」を感じますか



図3 最も不便を感じていること



図4 過疎脱却に対しての方策



図5 農業振興のための施策

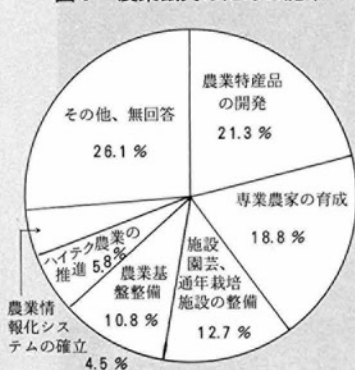


図9 Uターン、企業誘致を進める場合、どのような業種がよいか

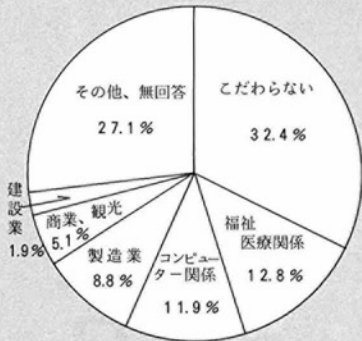


図8 Uターン希望者がいますか

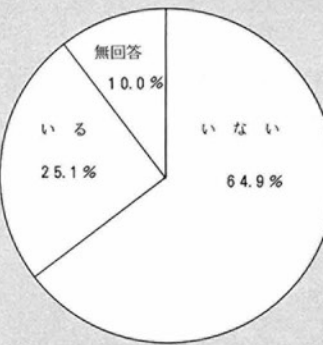


図7 商業振興のための施策



図6 林業振興のための施策



は、林業生産基盤の整備一八・七％、秋田杉のブランドの確立一六・五％、観光林業の振興一三・三％などと続いています。

商業振興のための施策としては、顧客サービスの充実が二四・八％と最も多く、次いでアーケードおよび駐車場などの整備一六・五％、新しい商業核の形成が一六・〇％などの順となっています。

◆問8 あなたは家族で、自分に合った職場があればUターンを希望する方がおりますか。(図8)

また、Uターンを進める場合、あるいは企業誘致をする場合は、どのような業種がよいとお考えですか。(図9)

「自分にあった職場があればUターンを希望する方がおりますか」の問いに対し、二五・一％の方が「いる」と答えています。この回答率を人数に換算すると、一世帯一人として、約七・五人の計算となり、年々人口が減少している本町にとっては、こうした意向を充分認識した上での計画策定が必要です。

◆問9 あなたは家族で、自分に合った職場があればUターンを希望する方がおりますか。(図8)

また、Uターンを進める場合、あるいは企業誘致をする場合は、どのような業種がよいとお考えですか。(図9)

「自分にあった職場があればUターンを希望する方がおりますか」の問いに対し、二五・一％の方が「いる」と答えています。この回答率を人数に換算すると、一世帯一人として、約七・五人の計算となり、年々人口が減少している本町にとっては、こうした意向を充分認識した上での計画策定が必要です。

◆問10 五城目町の将来像(イメージ)として、どのような町を望んでいますか。(図10)

やはり、「福祉保健の充実した町」が二二・四％で最も多く、そして「商業、観光で賑やかな町」一九・七％、「製造業がいきいきとした町」一九・〇％と続き、「農林業が盛んな町」一五・一％、「教育文化の薫り高い町」一三・四％の順になっています。

◆問11 町の将来を考えた場合、開発と自然環境についてどのようにお考えですか。(図11)

町の発展のために必要な開発でも、自然環境の保全に万全を期すべきであるが三八・三％、自然環境を多少犠牲にしてもやむを得ないが二八・九％、自然環境の犠牲はやむを得ないが一二・一％となっており、開発の必要はなく自然環境の保全が第一と答えた方は、わずか七・二％で、開発を望む声が多くなっています。

◆問12 あなたの地区で、今後整備が必要であると思われるものは何ですか。(図12)

五城目、富津内、内川、大川、森山地区で「公園及び広場」がトップとなっており、馬川、馬場目、富津内地区では「自然環境を活用した観光施設」がトップとなっています。

◆問13 町の開発に関して、特に重要だと思ふ施策を選んで下さい。(図13)

十項目の中から二つ選んでもらいましたが、レクリエーション施設の整備が一八・五％でトップ。次いで自然環境を活用した施策が一三・三％、以下、未利用地の有効活用九・三％、学園ゾーン整備八・〇％と僅少差で続いておりますが、本町の地理的条件に立脚した、若者向けの開発が望まれているものと考えられます。

また、全体では「公園及び広場」が二二・〇％、「自然環境を活用した観光施設」が一九・五％、「住宅地」が一三・九％、「レクリエーション施設」が一・一％の順となっています。

アンケートの回収率

世帯数 (6月1日現在)	回収数	回収率
五城目地区	1,733	73.7%
馬川地区	315	69.5%
馬場目地区	450	61.3%
富津内地区	422	85.5%
内川地区	326	71.8%
大川地区	455	71.2%
森山地区	241	66.0%
計	3,942	72.3%

図12 あなたの地区で整備が必要なもの



図11 開発と自然環境について



図10 町の将来像(イメージ)



図13 今後の町の開発について



五城目町ごみ対策懇談会

年度内答申に向けスタート

五城目町廃棄物対策に関する大綱を構築するために設置された「五城目町ごみ対策懇談会」の第一回会合が、九月六日、役場四階大会議室に、委嘱を受けた委員など二十人が出席して開かれた。

この懇談会は、近年、深刻化するごみ対策の緊急かつ総合的対応を求められており、廃棄物の再利用および廃棄物処理に伴う環境整備事業などの円滑な推進を図るため、また、五城目町にふさわしい廃棄物対策のあり方・展望を構築する必要から設置されたものです。

この最終処分となるごみの量をいかに少なくするか、また、使用できなくなった時にどのように対応するかなどが問題となっています。

そのため、同懇談会では、五城目町にふさわしい廃棄物対策のあり方・展望を構築する必要から、関係団体の代表者から成る「五城目町ごみ対策懇談会」を設置し、五城目町廃棄物対策に関する「答申事項」を、年度内に取りまとめることになっています。

五城目町ごみ対策懇談会の委員の方々は次のとおりです。（内は所属団体、敬称略）

▼参与

齊藤嘉市（五城目警察署長）
伊藤善信（秋田保健所長）

▼会長

新谷秋蔵（町内会長代表）

▼会長代理

松橋健治郎（町内会長代表）

▼委員

小玉哲郎（町議会議長）、
草皆隆悦（町議会议員代表）、
西山勝雄（町校長代表）、
笹尾知（町開業医代表）、
金子松之助（町



役場で九月六日に行われた第一回懇談会

今後の日程

物収集業者代表）

▼十月下旬

研修会

▼十一月月中旬

第二回懇談会Ⅱ懇談・検討

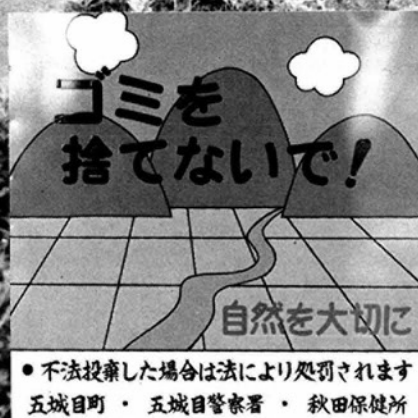
▼一月下旬

第三回懇談会Ⅱ答申（案）作成

▼二月中旬

第四回懇談会Ⅱ答申作成

※必要に応じて会長が招集する場合もあります。



現在、五城目町における廃棄物処理の現状は、一般廃棄物（可燃物）収集は各地区とも週二回、定められた収集場所より委託業者が収集し、清掃センターで焼却しています。一方、不燃物の一般廃棄物収集は、各地区とも月二回、また、粗大ごみは年三回、定められた収集場所より委託業者が収集し、業者作業場において減量化作業（再利用できる物とできない物の分別作業）を行い、残渣を能代市にある一般廃棄物最終処分場へ運搬しています。

さて、ごみの量は年々増えつつあり、中でも不燃物・粗大ごみの量は著しく伸びています。そして、平成二年度に処理したごみの量は可燃物、不燃物、粗大ごみ合計で二千七百八十四トンにのぼっています。それに伴う費用は、平成二年度清掃センター費（人件費、維持管理費、施設工事費など）が四千六百二十七万円、最終処分のための委託料が二百六十四万円となっています。

特に、廃棄物最終処分を能代市に委託していることから

新しい農業のエキスパートに！

企業の農業経営実践法人(仮称)を募集中 平成4年度就農志向従業員

農業の新規就農者が激減するなかで、兼業化・高齢化による若い担い手不足が深刻となってきました。

このため、農家子弟の新規学卒者だけでなく、他産業からのUターンや農外からの新規参入者も対象とした、農業従事者の確保対策を強力に展開するため、宮農大を再編し、今までは異なる形態で、より実践的かつ企業的な農業経営技術の習得を図る場として、「企業の農業経営実践法人(仮称)」(以下、「実践法人」と呼ぶ)を設置します。

実践法人は、平成4年度から営農を開始しますので、実践法人のもとで農業の実践的な技術習得を行う研修生(以下、「就農志向従業員」と呼ぶ)を募集します。

▽募集主体
秋田県
▽募集対象
新規就農希望者または現に農業に従事する概ね三十五歳未満の方で、修了後県内に就農が確実と見込まれる方

▽募集人員

三名(各部門一名)

▽就業年限

原則として二年

▽就業場所等

◎企業の農業経営実践法人(仮称)
北秋田郡合川町下杉字上清水沢

◎現営農大校施設
北秋田郡合川町下杉字上清水沢

▽募集期間
10月1日～12月31日

▽応募方法
書類を役場、農業協同組合を経由して農業改良普及所へ提出して下さい。

▽就農志向従業員の決定
県で書類審査、面接を行い通知します。

▽就農志向従業員の技術習得
実践法人での技術習得

◎就農志向従業員は実践法人の従業員として雇用され、企業的な経営の中で生産から販売・流通まで従事し、その中で、より実践的な生産技術、企業的な経営技術を習得します。

技術習得は、実践法人の営農部門毎に次のとおり実施します。①大規模畑作・稲

作部門、②野菜・施設園芸部門、③花き部門

◎技術習得内容は次のとおり(1年目) 実践法人の生産および経営実践の中で、生産から販売・流通まで従事しながら技術習得します。

(2年目) 本格的な就農に準じた形で、自らの計画と責任のもとで営農を実践しながら技術の習得を図ります。

(2) 県の座学研修
優れた技術と経営感覚を備えた実践法人の構成員が実践的技術を指導するほか、県は現営農大校施設を利用して、土壌肥料、植物防疫等の農業の基礎知識やコンピュータ研修等の座学研修を実施します。

▽給与等
◎就農志向従業員には、企業的な農業経営実践法人より、月額として概ね十万円を支給します。

◎寮を完備しています。

▽問い合わせ先
県農業技術開発課(電話60-1742) か農業改良普及所へ。

平成3年度 第2次結核検診日程表

(前回、結核・肺がん検診を受けなかった人が対象です。料金は無料です。)

月 日	町 内 名	時 間	検 診 場 所	月 日	町 内 名	時 間	検 診 場 所
10月21日 (月)	谷地中 西野 四ツ屋 石崎 曙町 下樋口、大川2区 大川1区 大川3・4区 野田 岡本1区 浦横町 岡本2区	前9:00～9:20 9:30～9:50 10:00～10:10 10:20～10:40 10:50～11:10 11:20～11:45 後1:00～1:20 1:25～1:50 2:10～2:30 2:40～3:00 3:10～3:30 3:40～4:00	谷地中公民館前 西野公民館前 伊藤キヨ宅前 石崎公民館前 佐藤潔宅前 大川多目的集会所前 北宇商店前 浅野理容前 野田公民館前 農協森山営業所前 消防ポンプ置場前 渡辺実宅隣	10月23日 (水)	平ノ下 寺庭、中村 蓬内台、小野台 町村、門前 帝釈寺 館越 久保 上高崎 高崎 下高崎	前10:50～11:10 11:20～11:50 後1:00～1:20 1:30～1:50 2:00～2:10 2:20～2:30 2:50～3:10 3:20～3:30 3:40～3:50 4:00～4:15	平ノ下公民館前 中村林業集会所前 馬場目ふれあいセンター前 町村公民館前 帝釈寺公民館前 斉藤忠雄宅前 久保公民館前 高崎林業集会所前 館岡和二宅前 京野孝之助宅前
10月22日 (火)	樋口 岩城町 上樋口上・下 館町 中川原 町内全域 " " " " " "	前9:00～9:20 9:30～9:50 10:00～10:20 10:30～10:50 11:00～11:20 11:30～11:50 後1:00～1:20 1:30～1:50 2:00～2:20 2:30～2:50 3:00～3:20 3:30～3:50 4:00～4:20	猿田俊雄宅前 一関テイ宅前 猿田正一宅前 本間商店前 二田農機店前 栗山豊店前(古川町) 齊藤鮮魚店前(昭辰町) 小浜薬局前(御蔵町) 荒要商店前(築地町) 荒川酒店前(畑町) 五城目町農協前(新畑町) 福島電気商会前(米沢町) あけぼの銀行前(川原町)	10月24日 (木)	高樋 北村 落合 高田、千日 脇村 台・御蔵下、乙市 八田 富田 上山内 下山内 新里町 広ヶ野、希望ヶ丘 上田町、田町	前9:00～9:20 9:30～9:50 10:00～10:10 10:20～10:30 10:40～11:00 11:10～11:30 11:40～11:50 後1:00～1:20 1:30～1:40 1:50～2:10 2:20～2:40 2:50～3:00 3:10～3:30	滑多羅ドライブイン前 北村公民館前 落合公民館前 高千公民館前 伊藤重美宅前 台・御蔵下公民館前 八田公民館前 富田公民館前 上山内公民館前 下山内公民館前 新里町集会所前 伊藤商店前 広月堂前
10月23日 (水)	合地 杉沢 坊井地 恋地 水沢	前9:00～9:10 9:20～9:30 9:40～9:50 10:00～10:20 10:30～10:40	合地林業集会所前 杉沢診療所前 金沢四郎宅前 恋地公民館前 石川時男宅前	10月25日 (金)	黒土 湯ノ又全域、小川口 浅見内全域 小倉 町内全域 " "	前9:00～9:10 9:20～9:50 10:00～10:30 10:40～10:50 11:00～11:30 後1:00～1:30 1:40～2:00	黒土公民館前 湯ノ又公民館前 浅見内児童館前 小倉公会堂前 五城目町消防署前 五城目町商工会前 五城目町役場

第15回産業文化祭

町の産業・文化を結集

11月2日から5日まで

今年で十五回目を迎える五城目町産業文化祭は、十一月二日から五日までの四日間の日程で、広域体育館、町民センターを会場に開催されます。期間中、会場には農林産物、商工業製品、芸術文化作品などが展示公開されるほか、物産展示即売会が行われます。また、協賛行事として芸文協芸能発表会、町内優良企業フアッションショー、全県森山登山競技会、NHK杯全県選抜小学校水泳競技大会などが開催されるほか、新たに新車を展示するモーターショーのコーナーが設けられます。

今までは、会場を二カ所に分散して開かれていた産業文化祭ですが、今年からは、展示公開や即売など、すべての部門が広域体育館と町民センターを会場に実施されることになりました。ただし、農業振興談話会は、農協会館で実施されます。

第一会場の広域体育館では、農産・商工の部、生活工夫展、児童・生徒作品展、協賛展示（盆栽展、菊花展、生花展、企業展など）、木工品展、雑貨即売会、住宅関連業者写真パネル展、企業コーナー、営業発表会

行事の紹介

- ①手づくり漬物即売
- ②第8回五城目町芸文協芸能発表会

- ③第35回秋田県森山登山競技会
- ④第4回NHK杯全県選抜小学校水泳競技大会
- ⑤だまこもち祭、おやきもち即売会
- ⑥特産物、植木、緑化木即売
- ⑦五城目地酒利き酒コンクール
- ⑧アマチュア無線コーナー
- ⑨モーターショー
- ⑩第2回産業文化祭ゲートボール大会
- ⑪町内優良企業フアッションショー
- ⑫有機米試食コーナー

入賞者の発表は

11月2日

最終日に褒賞授与式

出品物は十一月一日に審査され、二日に入賞者が発表されます。また、入賞者に対する褒賞授与式は、最終日の五日午後一時から広域体育館で行われます。

産業文化祭行事日程

日	行事	時間	会場
2日(土)	・入賞者発表・出品物公開 ・物産展示即売 ・営農相談 ・モーターショー ・農業振興談話会	九〇〇～一七〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 九〇〇～一五〇〇 一四〇〇～一六〇〇	各会場 広域体育館 広域体育館 町民センター前 農協会館
3日(日)	・町功労者表彰式・祝賀会 ・だまこもち祭 ・おやきもち即売会 ・営農・農業者年金相談 ・農産物即売会 ・植木、緑化木即売会 ・物産展示即売 ・アマ無線一般公開 ・第35回秋田県森山登山競技会 ・五城目地酒利き酒コンクール ・モーターショー ・第8回五城目町芸文協芸能発表会	九〇〇～一四〇〇 一〇〇〇～一五〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一五〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 九〇〇～一三〇〇 九〇〇～一六〇〇 一四〇〇～一六〇〇	広域町民センター 町民センター 町民センター 広域体育館 広域体育館 広域体育館 町民センター前 広域体育館 広域体育館 広域体育館
4日(月)	・第4回NHK杯全県選抜小学校水泳競技大会 ・第2回産業文化祭ゲートボール大会 ・だまこもち祭 ・お茶のつどい ・おやきもち即売会 ・植木、緑化木即売会 ・物産展示即売会 ・営農・農業者年金相談 ・モーターショー ・アマ無線一般公開 ・町内優良企業フアッションショー	九〇〇～一四〇〇 九〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一五〇〇 九〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一五〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 九〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一六〇〇 一〇〇〇～一五〇〇	室内温水プール 雀館運動公園 町民センター 町民センター 町民センター 広域体育館 広域体育館 広域体育館 町民センター前 町民センター前 町民センター前 町民センター
5日(火)	・褒賞授与式	一三〇〇～一六〇〇	広域体育館

第一会場の広域体育館



昨年、人気を呼んだ優良企業ファッションショー



民有林造林コンクールの参加者を募集

五城目町産業文化祭の一環として、平成三年度民有林造林コンクールを実施します。募集内容は次のとおりです。で、多数のご参加をお待ちしております。

▽実施期間
10月24日～10月30日

▽参加基準
スギ林 3反歩以上

(1) 第1部 10年生～15年生

(2) 第2部 16年生～25年生

(3) 第3部 26年生～35年生

▽申し込み締め切り日
10月23日まで

▽申し込み・問い合わせ先
五城目町役場林政課
電話 52-2100

2年間の成果を発表

五城目小で公開研究会

町教育委員会の研究指定を受け、生活科および社会科の研究とその実践に取り組んでいた五城目小学校で、十月三日、町内外の小・中学校の先生や関係者が一堂に会し、公開研究会が行われました。

この研究会は、各校持ち回りで行われているもので、平成二年度と三年度は五城目小学校（新田常美校長・生徒数六百五入）が指定を受け、「自ら課題を持ち、意欲的に学ぶ子どもの育成」―「生活科」体験や活動を通して、自ら学ぶ子どもを育てる指導（社会

科）資料の活用や体験を通して、課題解決に取り組む子どもを育てる指導―を研究主題に取り組んでいたもの。

この研究課題に五城目小学校が実質的に着手したのは、新指導要領が告示された直後の平成元年四月。平成二年度からの町教育委員会の指定を予測し、基礎態勢づくりともいえる先取り研究を進めていたもので、今回の発表会は、この三年間の研究の大きな節目であり、新たな課題解決に向けた「再出発の日」と、五城目小学校では位置づけてい

ます。この日の公開研究会は、①公開授業（二時間）、②全体会（開会行事・研究協議）、③分科会（低学年・中学年・高学年の三分科会）、④全体会（閉会行事）の順序で進められました。

各学年から一クラスが公開された授業では、一・二学年が生活科、三学年から六学年までは社会科を披露。参加したたくさんの先生を前に、子どもたちは生き生きと活発に手を上げ発言していました。また、全体会と分科会では、

今までの研究内容や問題点などについて、突っ込んだ意見交換が行われていました。



たくさんの先生を前に、公開授業



突っ込んだ意見交換が行われた分科会

「ふるさと五城目会」総会

250人が参加し、交流深める！

「ふるさと五城目会」第三回総会が、九月二十八日、千代田区の九段会館で会員ら二百五十人が出席して開かれました。

同会は、首都圏に在住している五城目町出身の皆さんが、会を通して相互の親睦と交流を図り、それぞれが持っている産業・経済・文化などに関する情報の提供や、お互いの活動を支援しながら、ふるさと

と五城目町の発展に寄与しようとして設立されたもので、一年の十一月に会員四百四十人で発足、現在では千七百三十四人にのぼっています。

総会では、初めに永井貞之助会長が「会発足以来の懸案であったオリジナル会員名簿が立派に完成し、難儀をかけた名簿作成委員や関係者の方方にお礼申し上げます。この名簿を基に、もっともつと交

流を盛んにし、友情の輪を広めていきたい」とあいさつしました。

続いて、活動報告や決算報告、事業計画案や予算案が審議され、▼町のきやどっこ祭りへのツアーを実施し、親族・友人等との積極的な情報交換を図る▼「リターンふるさと」を促進するために特別委員会を設置する一などの活動計画を決めたほか、会員からの要

望で、首都圏に新たに就職する町出身者の会合を設けることも、検討して行くことになりました。

また、今年は役員改選も行われ、全員が再選されたほか、体制を強化するため役員数が増加されることになりました。この後、懇親会に入り、来賓として出席した佐藤町長や木村区長、そして急きょかけつけた石川秋田市長らがあい

さつ。続いて、猿田久男さんが乾杯の音頭を取り、懇親会が始まりました。

「楽しい会」を合い言葉にしている同会だけに、民謡あり、歌ありと会場はとてものぎやか。中でも、会員の心を一つにしたのは懐かしい盆踊りで、太鼓の音（ただしテープ）に合わせ踊りの輪が二重にもなり、盛り上がりを見せていました。



別れを惜しみ、あちこちで握手が……。

「会員名簿」を販売します

「ふるさと五城目会」名簿作成委員会が、一年がかりで作ったオリジナル会員名簿を販売します。名簿には住所、勤務先などはもちろんのこと、趣味やひと言メッセージも載っています。B5版、234ページで一冊二千元。百部の限定販売。
▽申し込み・問い合わせ先
五城目町役場商工観光課
52-2100



総会であいさつをする永井会長



杉沢地区のテーブルにて



盛り上がった盆踊り

このたびの台風19号被害に対し 心からお見舞い申しあげます。

まごころかよう



五城目信用金庫

- 台風被害の修繕資金として、リフォームローンを用意いたしております。
お気軽にご相談ください。

本店 ☎ (0188) 52-2115 (代) 八郎湯支店 ☎ (0188) 75-2544 (代)
若美支店 ☎ (0185) 46-2315 (代) 飯島支店 ☎ (0188) 45-8024 (代)



秋晴れのもと、 馬場目岳清掃登山

山頂では全員で記念撮影



秋の馬場目岳清掃登山が、九月二十六日、町内外から三十人が参加して行われました。

この清掃登山は、春と秋の二回行われているもので、登山道沿いの清掃を通して自然の大切さと良さを知ってもらおうと企画されているもの。

今回も参加者の中には、秋田市や天王町、飯田川町、八郎潟町などの町外の方も多く見受けられ、銀の沢登山口から頂上までの約四キロを、二時間以上かけてゆっくり登頂。頂上では、遠くの景色を眺めながら、自然の良さを満喫していました。

腹話術で交通安全教室

— 内川保育園 —



信ちゃんをあやつる守屋さん(左)

九月二十五日、内川保育園で腹話術を使った交通安全教室が開かれました。この教室は、交通安全を徹底しようと、同園が毎月一回開いているものです。

腹話術を行ってくれたのは、八郎潟町の守屋ミヨ子さん(41歳)。午前十時から約二十分間開かれた教室では、赤信号で横断歩道を渡り事故にあった信ちゃんの体験を元に話が進められました。子どもたちは初めて見る腹話術に、不思議そうな顔をしながらも真剣に話を聞き、最後は信ちゃんと握手をしお別れしました。

各地区で安全呼びかけ

— 秋の全国交通安全運動 —

交通安全を呼びかける
大川若妻会の皆さん

九月二十三日午前九時から約一時間、大川若妻会の皆さんが、チラシやヤクルトを渡し交通安全を呼びかけました。



また、馬場目保育園母の会などの皆さんも、九月二十七日午前七時から約一時間、手作りマスコットなどを配ってドライバーに交通安全を呼びかけました。

なお、交通安全協会大川支部主催の第三回交通安全かかしコンクールの結果は次のとおりです。

【特別賞】ロボットの回転式信号機(小熊新五郎さん・大川四区) 【優秀賞】おばけのQ太郎(大川保育園) 【奨励賞】おばけ傘(大川小六年女子) 【努力賞】安全坊や(大川小六年男子) ※特別賞の小熊さんには賞金一万円と副賞(二千元相当の品物)、賞状が贈られました。

森山荘で合同演奏会

— ニコニコ楽団と我楽多交響楽団 —



森山荘で行われた合同演奏会

老人ホームの楽団同士が互いの演奏を披露する「第三回楽団交流交歓演奏会」が、十月一日、森山荘で開かれました。

森山荘を訪れたのは、秋田市浜田にある松寿園と松峰園のお年寄り約五十人で構成する「我楽多交響楽団」。

この演奏会は、森山荘が楽団を結成する際、演奏方法などを教えていただいたのがきっかけで開かれるようになりました。

演奏会では、ニコニコ楽団が「高校三年生」などを、我楽多交響楽団が「踊るポンポコリン」などを披露しました。

秋まるかじり!

こくのある味

地鶏鍋

(きのこなどたっぷり)

郷土の名物

だまこもち鍋

(秋の風味いっぱい)

幻の川魚

いわな・紅ます料理

(骨酒も用意してございます。)

静かな宿、思い出に残るいで湯
赤倉山荘

むら
お食事処 すぎ群

午前10時30分より営業しております

御予約は 54-2969, 54-2970

ふるさと五城目会

19

「会員名簿に寄せて」

小林 茂 春



帰郷の折、遠くに森山の雄姿が見え始めた時、長い道中の疲れも一瞬にとれ、ほっと一息つける瞬間でもあります。故郷を遠く離れている私達に安らぎを与え、力強く見守ってくれている五城目町の象徴森山。

その森山の麓・下山内生まれの私は、親父の顔も知らずの片親育ち。母の強さだけ、苦労だけが記憶に残る貧困の少年時代でした。

広ヶ野の丘、森山の裾野を遊びの庭とし、近くを流れる川を夏の遊び場とし、魚とりに明け暮れました。この川も台風の都度大氾濫を起こし、橋の壊れるのを目の当りにし、子供心に山川草木が自然の大切な生き物であることを知りました。共に遊んだ仲間、友達は一生涯の宝と心にきざみ、今はやりの学習塾など知るよしもなし。偏差値なる怪物に出会う事もなく、自然のすばらしい環境の中で伸び伸びと育ててくれたふる里五城目町。昭和三十三年頃までの遠いなつかしき良き思い出であります。

このすばらしい故郷五城目町とを結ぶかけ橋「ふるさと五城目会」が九月二十八日、千代田区九段会館にて、佐藤町長および木村千代田区長を始め、多数の来賓

ご列席の中、第三回総会を懇親会を兼ねて盛大に開催しました。三回目を迎える会員の皆さんも年一回の楽しみとあって大変な盛り上がりを見せ、とりわけ会場狭しと賑わった盆踊り、そして佐藤町長自ら各テーブルを廻って一人ひとりにお酌をしながら語らいかけておられる姿がなんとも印象的でした。会員の皆さんも地元五城目町にいる雰囲気存分に味わい、心地よい気分が帰られたことと思います。この度の総会に合わせて、会費足以来準備してまいりました「ふるさと五城目会」の会員名簿が、担当役員さんのご努力によって発刊の運びとなりました。すてきな表紙につつまれた内容の濃い立派な名簿です。会員の皆さん、貴方のお名前が載っております。友達のお名前、同期のお名前、頁をめくって近郊、近所の仲間を探し、多勢の同郷の輪を作ってください。多くの時間と労力を費やして努力頂いた担当役員の皆さんへのささやかな御礼となると思います。

名簿を開いて見ますと、会員の皆さんはこの関東一円でそれぞれの分野で立派な活躍をされております。一七三四名の会員が心と力の結集を図り、ふる里五城目町へ有形、無形の寄与、還元を努力を致しましょう。この会員名簿がいつも明るい所で花開いているためにも。

最後に、会員名簿発刊までの長い期間ご努力頂いた役員の皆様に対し厚く御礼申し上げますと共に、五城目町の皆さん、会員の皆さんのご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

―下山内出身・十三期卒―

高正グループ

企業訪問 ⑨

地元の力は天地の力 一番大事なのは人！ 気力と心を大事にしています。 “気力”が高正のシンボルマーク



「高正」代表
館岡正一
(44歳)

昭和五十一年二月十一日、「建国記念の日」に創業開始。アパレル産業より始め、同年八月一日からは、特殊検査代理店を基に、「高正」グループへと発展しました。今後も、地場産業である木材加工、縫製、梅林等、グループとして地域に大きく貢献し、皆様と気軽に触れ合える企業として頑張っていきたいと思っております。

● 企業の概要

代表 館岡正一
創業年月日 昭和51年2月11日
従業員数 50名
事業内容 子供服(シャツ、ブラウス)/
木材加工/健康食品
年商 約1億円
事業所 五城目町高崎字小沼143
五城目町高崎字田中191-1
五城目町高崎字里下24
☎ 52-3750 FAX 52-3695

※ 皆様の参加を待っています。



高崎にある縫製工場

スポーツ・コーナー



秋田県少年少女レスリング選手権大会の結果

- 九月二十三日、秋田県立体育館を会場に「第七回秋田県少年少女レスリング選手権大会」が、県内九十七人のチビッコレスラーが参加し開かれました。
- 本町からは九人が参加し、大活躍しました。成績は次のとおりです。(敬称略)
- △男子小学1・2年の部▽
 - ▽22 K級(C) 準優勝 簾内雄(湖北小2年・八竜)
 - ▽24 K級(C) 優勝 佐々木寛(馬小2年)
 - △男子小学3・4年の部▽
 - ▽24 K級準優勝 齊藤義輝(五小3年)
 - ▽26 K級(A) 準優勝 伊藤真樹(五小3年)
 - ▽26 K級(B) 優勝 館岡正幸(五小3年)
 - ▽30 K級(B) 準優勝 近野卓矢(五小4年)
 - ▽34 K級優勝

簾内勝美(湖北小4年・八竜)
△男子小学5・6年の部▽
▽44 K級優勝 藤井洋輔(五小6年)

△女子小学5・6年の部▽
▽26 K級優勝 近野ひろみ(五小5年)

第4回伊藤義男杯全町バレーボール大会 10月27日(日)に開催

町バレーボール協会では、十月二十七日(日)午前九時から、広域体育館を会場に「第四回伊藤義男杯全町バレーボール大会」を開催します。

種目は、九人制バレーボール、ソフトバレーボール(フタミリー)、六人制バレーボールの三種目。申し込みは当日体育館で受付し、抽選は午前九時から行います。

競技方法など詳しいことは、中央公民館(☎52-4415)にお訪ね下さい。

温水プールの利用について

温水プールは、11月4日(月・振替休日)、第4回NHK杯全県選抜小学校水泳競技大会のため、一般の方は利用できません。

台風19号災害関係

台風19号により被災された皆様方へ

◎国税の軽減・免除や納税猶予等のお知らせ

このたびは災害を受けられた方は、被害額の程度によって国税について次のような取り扱いが受けられます。

- ▽所得税など税金の減額
 - ▽税金を納める期限の延長
 - ▽申告・申請などの提出期限の延長
- 詳しくは、秋田北税務署(☎45-1161)にお訪ね下さい。

台風19号の災害に伴う国民年金保険料の免除受付について

去る九月二十八日朝、本県沖を通過した台風19号がもたらした被災者を対象に、国民年金保険料が免除されることになりました。

免除の認定や免除の期間等については、役場住民課国民年金係(☎52-2100)へお問い合わせ下さい。

災害復興住宅資金融資の受付

住宅金融公庫では、このたびの台風19号によって住宅に被害を受けた方(住宅に十万円以上の被害を受けた方)に

対し、「災害復興住宅資金」の融資の申し込みを受け付けています。

▽受け付け期間
平成3年10月4日～平成5年9月28日

▽融資条件(木造の場合)

- (1)金利 年5・3%
なお、金利は金融情勢によって変更になることがあります。
- (2)融資限度額
・建設資金 880万円
・補修資金 490万円
- (3)返済期間
・建設資金 25年(3年以上の元金据置可)
・補修資金 20年(1年以上の元金据置可)

▽申し込み先
住宅金融公庫業務取扱店と表示した金融機関
▽問い合わせ先
住宅金融公庫東北支店(☎022-1227-9311)
または業務取扱金融機関

ご利用ください「国の教育ローン」

国民金融公庫では、高校、大学、専修学校、各種学校などへの入学時や在学中に必要な教育資金を「国の教育ローン」として融資しています。

「国の教育ローン」は低利のうえ手続きも簡単なことから、これまで百万人以上の方に利用されてきた公的融資制度です。

進学資金については、合格発表前に申し込みできますので、なるべく早目にご相談下さい。

▽融資限度額
学生、生徒お一人につき百五十万円以内(ただし、在学中の費用については五十万円)

▽問い合わせ先

国民金融公庫秋田支店「国の教育ローン」係
☎32-5641

10月は郵便貯金月間

十月一日から三十一日まで、「郵便貯金月間」豊かな社会づくりをめざして」です。

郵便貯金は、明治八年創業以来、一世にわたり常に国民生活と一体となって、生活の安定と社会福祉の増進に貢献してまいりました。

また、お預かりした資金は、国の財政投融資計画に基づき運用原資の主要な柱として、市町村をはじめ各方面に融資され、豊かな町づくりに大きな役割を果たしています。

いま60歳定年が主流の時代

十月は高齢者雇用促進月間です。

六十歳定年と六十五歳までの継続雇用について、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「ハローワーク秋田」(秋田公共職業安定所)

自分らしいファッションで乗る。充実装備がうれしいMタイプ。



- AM/FMラジオ付カセットステレオ
- ダイヤル式6モードフルエアミックスエアコン
- パワーステアリング(2WD AT車)
- パワウインドー(フロント)
- リヤワイパー



有佐藤自動車整備工場

南秋田郡五城目町一番町 ☎(0188)52 2059

Mタイプ3ドア 5MT車 82.3万円

町学校音楽祭 10月20日開催

第八回五城目町学校音楽祭が、十月二十日午後一時から広域体育館で行われます。

第一部は五城目天翔太鼓演奏、第二部は五城目小学校の皆さんが「11ぴきのネコ」を合唱します。

第三部では、町内の小・中学生と五城目高校の生徒、コールもりやま、町民の皆さん、合わせて一千百人が参加し、「大いなる秋田」の合唱が行われます。

秋田県最低賃金 改正のお知らせ

秋田県内で働くすべての労働者に適用する、秋田県最低賃金が次のとおり改正されました。平成三年十月十二日以降は、この最低賃金より低い賃金で労働者を雇用することはできません。もし違反した場合は、最低賃金法により罰せられます。

▽最低賃金額

・1日 3,925円

・1時間 491円

▽効力発生日

平成3年10月12日

磯ノ目フラワーラインの ペコニア差し上げます

町花いっぱい運動推進委員

会では、町民の皆さんに磯ノ目フラワーラインのペコニアを差し上げます。日時は10月21日から25日の午前9時から午後4時まで、現地に於て。

光のサンマ紅葉ツアー 参加者募集

五城目営林署では、馬場目岳の紅葉に親しむ森林浴、森林教室（樹種当てクイズ等）を企画しました。

緑豊かな自然とのふれあいを体験してみませんか。

▽日時

10月27日（日）9時～15時

▽集合場所・時間

五城目営林署 9時

▽主な場所

馬場目沢国育林（日内溪谷光のサンマ、光沢園地）

▽募集人員

先着40人

▽応募方法

ハガキまたは電話で

〒018-17南秋田郡五城目町七倉165-1五城目営林署総務課 電話52-4120へ。

▽受付期間

10月15日（火）～23日（水）

▽参加料

大人 2,000円

小人 1,000円

（傷害保険代、昼のキノコ汁代などを含みます）

▽その他

雨天決行。服装は山歩きできるものとし、昼食、雨具をご持参下さい。

お知らせ コーナー



あなたも 「緑」のオーナーに

五城目営林署では、国有林の分収育林を募集しています。分収育林は、緑の資産と緑豊かな山づくりに直接参加していただき、森林とのふれあいを感じながら、皆様と営林署とで森林づくりを共に行っていくものです。

森林浴を楽しみたいお子さん、お孫さんに、資産として残したいなど、幅広いご要望にもお応えできる制度です。

▽対象森林の所在地

五城目町富津内11林班へ小

五城目町浅見内1林班へ小

▽募集口数

23口

▽募集金額

一口50万円

▽現地へのご案内

10月24日 9時まで営林署にお集まり下さい。

▽公募期間

3年10月8日～4年2月29日

▽問い合わせ先

五城目営林署総務係

電話52-4120

育児休業法セミナー 開催のご案内

労働省秋田県人少年室の主催で「育児休業法セミナー」が開催されます。

▽日時

10月31日（木）

午後1時30分～午後4時

▽場所

秋田ターミナルホテル

瑞雲の間（3階）

▽対象

人事、労働担当者、女子労働者などなたでも参加できます。

▽内容

・解説「平成4年4月1日施行の育児休業法について」

・事例発表

▽参加費

無料

▽申し込み締め切り日

10月25日まで

▽申し込み・問い合わせ先

秋田県人少年室

電話62-6681（内線）46

電話62-6684

青年海外協力隊 秋募集説明会を開催

若者が持っている技術・技能を生かし、発展途上国の国づくりに協力する青年海外協力隊の秋募集説明会を開催します。

▽日時

①10月24日（水） 18時30分～

②11月18日（月） 20時30分～

▽場所

秋田県国際交流協会（市営バス 市立体育館下車

アイテックスビル8F）

▽問い合わせ先

秋田県国際交流室

電話60-1218

「秋田の名工展・職業 訓練展」のご案内

▽展示作品 ①現在活躍中の「卓越した技能者」(労働大臣表彰)、「秋田県優良技能者」(知事表彰)の作品等
②県立専門校・技能開発センター、認定訓練校の訓練生の作品

▽期間

11月1日（金）～3日（日）

▽会場 秋田ニューシティ（ダイエー秋田店）1階

インナープラザ

▽開会式

11月1日午前10時～

※期間中、名工の方の技能を披露（実演）します。

新発売

靴専用カイロ

靴ホット

足のつま先ホッカホカ

貼れる

歩きやすい型

五城目 中央薬局

下町朝市通り ☎52-3217

山 栗 岡 館

小 野 一 二



キノコが売られる市でスケッチしている画伯に会ったことがある。画帖をひろげていなければ、それとわからぬ風である。市の人々は郷土を描いた画伯の好きな画題だった。日本画家館岡栗山は明治三十年（一九〇七）九月五日馬川村高崎に生まれた。名は豊治という。絵が得意で小学生ながらのまねると絵馬や屏絵を描いて稼いだという。

四四年師範学校に進むが一年で退学。町内の医院の書生となったりしたが、その間も好きな絵筆を捨てなかった。彼の画才を認めたのは主人の落合医師である。大正八年（一九一九）二歳、落合医師のすすめで絵の修業のため上京する。しかし家出同然の上京は病氣のため半年で帰郷しなければならなかった。

その挫折にめげず再度上京十五年（一九二六）二九歳、さらに本格的勉強を決意して京都に移る。この一年前、長春の号を森山の山容をあらわす栗山に改めている。京都での無名時代、赤貧洗うがごとき生活を経験する。

昭和三三年（一九六八）近藤浩一路に師事。八年三六歳「台温泉」が日本美術院展に初入選した。修業に入るのがおくれた栗山にとって、むしろ早い入選といえた。以来入選三十回、十四年に院友、四三年（一九六八）特待・無鑑査となった。

師の浩一路は美術院をはなれたが、栗山は行を共にせず最後まで院展作家の初志を貫いた。師と別れて間もなく「雨後」が大観賞となり、それを契機に安田靫彦の指導をうけるようになった。それは栗山の一途さが招いた好運であり、その頑固さが彼の芸術を大成させたといえる。

二十年四月、町に疎開。二一年秋、一日市に移住。五三年（一九七八）十月十六日死去するまでここに住んだ。郷里での画伯は秋田の風景・民俗を題材に画境を深め、院展入選を重ねた。作品に夜景が多いのも、一つの特徴である。

戦後秋田の芸術文化に力を尽したことも特筆すべき功績である。新樹社結成、県内展審査などの指導的役割のほか、地域新聞発行、俳句会・短歌会の主宰など、その活動は多岐にわたる。画室は千客万来、栗山伯のようであった。

余技以上のものに俳句があり、雀館公園に句碑が建つ。北嶋南五に手ほどきをうけ、以来俳弟の礼を尽し、大正期には俳誌「山彦」を主宰、長く日本俳画会会員だった。二九年東京松坂屋で開いた「秋田風俗詩画展」はその集大成だった。そういわれると、画伯の作品には暖かな俳味が流れている。

館岡家は芸術一家であるが、特に子息豊照は画家として父を凌ぐ程だという叱られるだろう。か。（次回 北嶋南五）

11月

ごみ収集日程表

「もえるごみ」

	曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町、新町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原樋口、岩城町	7日・11日・14日・18日・21日・25日・28日 月・木
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川（1区～4区）	1日・5日・8日・12日・15日・19日・22日・26日・29日 火・金
大川（1区～4区以外の地区）、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	2日・6日・9日・13日・16日・20日・27日・30日 水・土

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町	9日・第2土	22日・第4金
新町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋口、岩城町	8日・第2金	22日・第4金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎	14日・第2木	28日・第4木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川（1区～4区）	13日・第2水	27日・第4水
大川（1区～4区以外の地区）、馬川地区、森山地区	12日・第2火	26日・第4火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	11日・第2月	25日・第4月

★注意

- ・台所のごみ（もえるごみ）は必ずよく水切りをしてから出してください。
- ・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
- ・祝日および振替休日は収集しませんが、注意してください。
- ・ごみ一個を十キロ以内にこん包して出してください。
- ・ごみ袋、標せんに、必ず名前を記入してください。

五城目町清掃センター TEL五二一九九〇四

少年の日標語

誘惑に負けぬ心の清らかさ

カラープリント **30分** 仕上げ

イトウカメラ

伊藤写真館

新畑町（ガーデン松竹向） ☎52-3667

おぼろ月

五城目町古川町 ☎52-3238

お菓子のしげた

最新システムフローワックス掛

愛車はいつも綺麗がいい！

洗車会員募集 ・ワックス掛の他、当店では車内清掃も行っています

きれいだ好きの面倒くさがり屋さん 集まって下さい。

湖東商事株式会社

五城目町大川国道7号線添い ☎75-3550・4317

（県内観光マップも用意しております）

10月 町民カレンダー

10月15日
11月5日

- 16・山びこ交流「焼芋パーティー」(杉沢保育園10時)
- ・大川保育園「秋の小運動会と給食試食会」(同園庭10時)
- 17・五一中県指定公開研究会(五城目第一中学校8時50分)
- ・率浦大学学習会(町民センター10時)
- 18・わんぱく交流「りんご狩り」(井川町湊農園10時)
- ・森山荘「秋の運動会」(森山荘10時)
- ・率浦大学院学習会(町民センター10時)
- ・下樋口町内会町政座談会(下樋口生活改善センター18時30分)
- 20・秋の一斉清掃(町内全域6時~7時30分)
- ・第8回五城目町学校音楽祭(広域体育館13時)
- 21・三種混合(役場保健室13時~14時) ※対象者は第1期2回目(平成元年6月~2年9月生まれ)
- 21・第2次結核検診(町内61カ所9時~16時)
- 22・婦人学級「移動研修」(出発9時30分) ※雄和町ミネット大、ほか。
- ・内川保育園「孫親参観日」(内川保育園9時30分)
- 23・中央家庭教育学級(町民センター10時)
- ・2歳児歯科健康診査(役場保健室、受付時間12時45分~13時15分) ※対象は平成元年5月と6月生まれです。
- 24・3歳児健康診査(秋田保健所五城目支所、受付時間13時~13時30分) ※対象は昭和63年3月と4月生まれです。
- 25・全町保育園児集合「あつまれ元気っ子!!」(広域文化センター)
- 26・28・大川地区文化祭(農村環境改善センター9時~16時)
- 27・町内対抗ゲートボール大会(雀館運動公園運動広場9時)
- ・内川地区学芸文化祭(内川小学校、いきがいセンタ19時30分) ※内川地区公民館、内川小学校、内川保育園の合同主催。
- ・大川地区住民慰安大会(大川小学校10時30分)
- 29・教育委員会10月定例会(役場大会議室13時30分)
- 30・乳児健康診査(役場保健室、受付時間13時~13時30分) ※対象は平成2年12月と3年6月生まれ。
- ・浦横町町内会町政座談会(浦横町林業集会所18時30分)
- 11月
- 2・5・第15回五城目町産業文化祭(広域体育館、町民センター)

さわやか 君

西村 宗



庁舎ギャラリー ご案内

伊藤蓮沼(書)
伊藤みゑ(絵) 夫婦展



集成材工場

庁舎玄関ロビーでは、十月一日から今月いっぱい、「伊藤蓮沼(書)・伊藤みゑ(絵)夫婦展」を開催しています。
伊藤蓮沼さんは現在、書友(秋田)師範・指導委員、書心(福島)師範・準同人、玄和(埼玉)師範として活躍されています。また、伊藤みゑさんは、昭和五十九年から魁カルチャースクールで、佐々木良三先生に師事し、秋田市の「美・コロ」グループに所属し、制作を続けています。
十一月は、「きやどっこまつり学童らくがき展」の予定です。

こんにちは 広報係です

テレホン広報
ごじょうめの
ご案内
暮らしのワンポイント

今回は、秋の味覚の代表ともいえる柿の渋の抜き方をお送りします。
お楽しみに!

テレホン広報
ごじょうめ
52-4141



	月	火	水	木	金	土	日
10/14 ～ 20	こ ん に ち は 保 健 婦 で す “尿 検 査 に つ い て ”						
21～27	愛 と 健 康 の 贈 り も の			暮 ら し の ワ ン ポ イ ン ト “柿 の 渋 の 抜 き 方 ”			
28 ～ 11/4	英 会 話 レ ッ ス ン “ Lesson 11 ”						

■自然の恐ろしさを改めて見せつけた台風19号…。被害を受けた方々の一日も早い復旧を、心からお祈り申し上げます。
(千)

■台風19号はほんとうに恐怖でした。わが家の片付けもそこそこカメラを手に町へ。屋根がスッポリ吹き飛んだ家、道路をふさぐ巨木など被害は想像以上にまだ風もおさまらない、そんな中で必死で屋根にビニールシートをかける人、壊れた家を茫然と見つめる人。そのような光景にカメラを向けた時、シャッターを押す手も鈍りました。皆さんに申し訳ないと思いながら撮った写真を、記録として残すために掲載したことをお許し下さい。一日も早い復旧を心から祈っております。
(廣)